

令和6年12月吉日

調査にご協力いただいた皆様へ

## 調査へのご協力のお礼とご報告

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年10～12月にかけて、わたくしども労働安全衛生総合研究所（安衛研）の「芸術・芸能(制作)分野に従事する方の働き方に関する調査票」の配布をご多忙中にもかかわらずご協力いただきありがとうございます。おかげさまで、全27団体から560名の方々にご協力いただくことができました。

この度、アンケート結果を基に報告書を作成いたしましたので、報告書を1部送付させていただきます。

今回の調査では、スケジュール上の休日にも仕事に関連する作業をしている割合が高く完全なオフ日で考えると休日が少ないこと、所謂過労死ラインと呼ばれる仕事に週60時間を超える長時間の拘束をされている割合が高いこと、特に若年層においては前述の度合いが高く労働負担がより高くなっていること、フリーランスの方の回答割合が高く芸術芸能業界をフリーランスの方々が現場を支えている実態、等が数字として示されました。今後はより詳細な分析を行い、研究成果として発表をしていく予定です。

今後調査をする機会がございましたら、お力をお貸しいただければ幸いです。

このたびは、アンケート調査へのご協力、誠にありがとうございました。

敬具

社会労働衛生研究グループ 部長 高橋 正也

(お問い合わせ先)

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

社会労働衛生研究部 加島・佐々木・高橋

〒214-8585 川崎市多摩区長尾6-21-1 電話 044-865-6111

## ■参考資料

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20241011-OYT1T50033/>